

新宮山彦ぐるーぷ第1935回―4

## 南奥駆道の行仙宿〜上葛川間で行方不明者の捜索 (上葛川・旧通信道〜地蔵岳迂回の鉄塔巡視路の捜索)

◇実施日：平成29年06月24日(土) 曇り一時薄日

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、

生熊千万満子。

5名。

6月初旬に、行方不明者の滑落・転落の可能性のある「槍ヶ岳・地蔵岳鎖場尾根8個所の懸垂下降による捜索」を実施したが、残念ながら見つけられなかった事から、葛川辻あるいは槍ヶ岳手前尾根上のNo26鉄塔から地蔵岳・東屋岳を迂回しうる鉄塔巡視路を辿った事も想定され捜索する事にした。

当初計画の25日(日)には、10名強の参加予定者があったが、梅雨前線の北上により大雨になる予報となり、急遽24日(土)に変更し、半数の5名が参加した。

21日の豪雨により新宮市相賀地内の国道168号線が通行止めとなり、311号線の風伝峠・瀬大橋を経て、169号線に入り、東野トンネル手前を左折し上葛川へ。上葛川口バス停上の登山口の路肩に川島車を駐車し、沖崎車で上葛川集落外れの林道終点の登山口(木馬道・旧通信道)に8時に到着。



葛川辻への登山口にて 最奥取水場の滝

No29 鉄塔標識・分岐

湯川君は、勤務先の彦根市から急遽帰省して、ハーネス・ヘルメットを装着して、今回の捜索山行に参加して下さる。

上葛川沿いの旧通信道には、この時節になると山ヒルが居るので、生熊・児嶋氏持参の木酢液を足元にスプレーする。

先日の豪雨もこれまで少雨だったため、程よい路面の固さで影響は少ない。最奥の取水場の滝を過ぎ、約1時間歩いて山ヒルの居なそうな地点で、生熊さん差し入れの冷え甘夏柑で小休止。この間、切り立った箇所を目を移して捜索しながら辿る。

程なく支谷沿いに急登するとNo28・29鉄塔標識の地点に着く。此処は、No29鉄塔への分岐であり、上葛川へ下るには90度方向を変え下降する地点のため、間違いやすく児嶋氏は道標を設置して下さる。

葛川辻に登り、槍ヶ岳手前尾根のNo26鉄塔から鉄塔巡視路を辿り、香精山を経て21世紀の森と上葛川分岐より下る当初の予定を、午後から雨も予想されNo28鉄塔から鉄塔巡視路を辿る事にする。

程なく前方上に小屋が見える地点に、地蔵岳参道(地蔵岳1時間)石柱とNo28鉄塔標識が設置されている分岐である。

黒色プラスチック階段を頼りに、ジグザグに目印の標識テープに導かれ登ること、約15分でNo28鉄塔に登る。



No28 鉄塔

地蔵岳・水場への石柱

地蔵岳を越えた奥駆道

此処からは。No226 鉄塔として No30 鉄塔が望まれるが、No27、No29 鉄塔への鉄塔巡視路への標識は無く道も見当たらない。

左尾根の杉大木にテープがあり、この地点より左斜面を斜上すると水場・地藏岳の石柱が倒伏している。

此処より左斜面をジグザグに登り、派生した尾根を辿り登ると、左・地藏岳の石柱道標と奥駆道石柱道標(以前に水場標識の在った)の立つ小ピーク尾根に出る。

小休止後、不動明王石像の在る尾根を越えて、四阿宿跡へ1時半に着き昼食とする。此処に落とし物の名無し帽子があった。昼食後、拝み返し、檜宿を越えて下ると、石柱道標があり、

左側に上葛川の標識のある No29 鉄塔への巡視路分岐である。程なく香精山手前尾根上の No30 鉄塔に着く。再度、協議をして No29 鉄塔巡視路分岐に引き返し、上葛川への鉄塔巡視路を探索する事にした。



香精山手前の No30 鉄塔 奥駆道の No29 分岐 No29 鉄塔標識・分岐

分岐より急斜面のトラバース道であり、斜面下を良く見ながら辿り、張り出し尾根に在る No29 鉄塔に着く。

鉄塔より間伐・枝打ちされた植林帯をジグザグに下降すると支谷に傾いた鉄板橋があり、谷を歩いて対岸へ渡り、谷沿いに下ると道が判らない。湯川君が再度支谷を渡って、踏み跡を見

つけて、直ぐに No28、29 鉄塔標識の旧通信道に13時に戻る。

結局、No28 鉄塔から No29 鉄塔への巡視路は無く、葛川辻からは No29 鉄塔分岐から No29 鉄塔を経て、奥駆道尾根に出て No30 鉄塔に至る事になる。そうなると No26 鉄塔から No27 鉄塔巡視路を経て何処に道が続いているのか、次回に再確認する必要がある。又、今回も行方不明者の手掛りは、見つからなかった

此処より上葛川へと朝通った旧通信道を引き返し、上葛川の駐車地に14時30分に戻る。

「先ダニ後ヒル」と言われる様に、最後尾を歩いた沖崎氏が、山ヒル1匹に血を吸われたが、生熊、児嶋さんの衣服上に付着していたが吸われなかった。

山ヒル退治には、塩及びライターが効果的で、直ぐに体から離れて取れるそうである、鈴鹿山系の山はもつと山ヒルが居るとの湯川君の談である。

帰路、阪本の川島農園?に立寄り、大根・胡瓜・茄子・ピーマン・桃・甘夏柑を採り、少しずつではあるが分けて貰った。



上葛川登山口に戻る

### 行動タイム

新宮 7:00 → 8:00 上葛川旧通信道登山口 8:15 → 8:30 最奥取水場





の滝→9:55No29 鉄塔分岐 10:10→地蔵岳参道分岐 10:25→  
 10:40No28 鉄塔 10:50→10:55 地蔵岳・水場分岐石柱→11:05 奥駈  
 道(左地蔵岳)11:15→11:30 四阿宿(昼食)12:00→12:25No30 鉄塔  
 →12:30No29 鉄塔分岐→12:40No29 鉄塔→13:00 旧通信道 No29  
 分岐 13:10→14:30 上葛川登山口 14:45→帰宅。

(記 川島)